

一 般 質 問 通 告 書

令和6年第4回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者
1	6	白 石 純 一	1 公共施設の立地について	市役所、消防署、中央公民館鶴見分館・保健センターなど、本市の中核的公共施設が集中して立地している鶴見町は、地盤沈下や洪水・津波による浸水などの課題が懸念される地区であるが、これらの施設が老朽化し建替えが必要となる際にも、同地区での建替えが適当と考えるか。	市 長
			2 新図書館について	建設の財源はどう考えているか。	市 長
			3 学校教育について	(1) 複式学級がある複数の学校で、教科によって複式学級内の2つの学年をそれぞれ別の先生が授業を行う単式授業が行われていると理解しているが、その現状と理由は。 (2) 複式学級がある複数の学校の間で、教科による合同授業を行うことで単式授業化し、小規模校を残す選択は考えられないか。	教 育 長
			4 観光施策について	出水郡内の2市1町でDMO（観光地域づくり法人）を設立するように、出水市、長島町に働きかける考えはないか。	市 長
			5 市役所・番所丘公園の太陽光発電について	株式会社トラストバンクが地域発電などの事業を譲渡した後の本市のマイクログリッド事業の枠組みはどうなっているか。	市 長
			6 市道阿久根出水線について	南九州西回り自動車道の阿久根インターとの接続で、鶴川内から西目までの間の交通量が増加しているに伴い、騒音、振動、排気ガス、ゴミの投げ捨てなどによる生活環境の悪化、交通事故増加への懸念、路面損傷などの道路環境の悪化などの苦情を市民から多く聞いている。これまでもトラッ	市 長

				ク協会への申し入れや注意書きの看板設置などの対策が取られているが、これらの問題の改善に向け、さらなる取り組みを進められないか。		
2	4	渡 辺 久 治	1 南九州西回り自動車道について	(1) 南九州西回り自動車道下り線の本線から阿久根北 I C に降りてくる道路と阿久根北 I C から本線に向かう道路の交差点は、阿久根北 I C から本線に向かう道路に停止線があるが、見通しが悪く危険である。ミラーを設置するなどの対策を国に要望することはできないか。	市	長
				(2) 阿久根川内道路の阿久根 I C から西目 I C (仮称) まで、西目 I C (仮称) から大川 I C (仮称) まで、大川 I C (仮称) から湯田西方 I C (仮称) までのそれぞれの区間の用地買収の進捗状況は。また、本市は、事業を推進するためにどのようなことに取り組んでいるか。	市	長
			2 洋上風力発電について	本市沖に計画されている洋上風力発電事業について、周辺自治体と協力しながら、市を挙げて全面的に推進する考えはないか。	市	長
			3 新田川河口入江の干潟活用について	干潮時に干潟となる新田川河口入江の一部について、地域の方から訪れた人々が散策できるように碎石等を敷くなどして整備したいとの声が上がっているが、この取組を市として支援する考えはないか。	市	長
			4 学校の在り方について	(1) 令和 3 年度から令和 5 年度までの本市の小・中学校における不登校者数とその割合は。	教 育	長
				(2) 公立の小・中学校における特別支援学級の児童生徒数の割合は、全国平均の 4.0% に比べ鹿児島県は 7.4% と高く、本市は 12.8% とさらに高いが、この傾	教 育	長

			5 新型コロナワクチンについて	向をどのように捉えているか。 (1) 65歳以上の高齢者などを対象とした新型コロナワクチンの定期接種が10月1日から始まったが、接種するワクチンの種類は選べるのか。	市	長
			6 華の50歳組について	(2) それぞれのワクチンについての副反応や健康被害に対する救済制度等の説明は、事前にどの程度なされているか。 「華の50歳組」は、平成18年4月に商標登録を受けているが、阿久根市以外の地域でも使用できるように許可制にできないか。	市	長
3	13	濱田洋一	1 危機管理について	(1) 近年、激甚化・頻発化する風水害（線状降水帯を伴う集中豪雨、台風等）は、気圧配置や海水温の上昇に伴う影響が大きいと言われている。このような風水害に対応する「公助」、「共助」、「自助」の必要不可欠な取組とは、どのようなことだと考えているか。また、この取組の課題は何か。	市	長
			2 観光を基軸としたまちづくりにおける産業振興について	(2) 「そなえよつねに」を念頭に置き、危機管理の要諦をどのように捉えているか。 (1) 観光を基軸としたまちづくりを推進される中で、産業についても振興を図られていると認識しているが、これまでにどのような施策や事業に取り組まれているか。	市	長
			3 夜間中学について	(2) 産業振興の推進の中で、令和5年度までの新商品開発支援事業及び本年度に事業化された商工業者事業拡大、拡充支援事業の実績はどのような状況か。 (1) 鹿児島県では、来年4月に鹿児島市の県立開陽高等学校内に「いろは中学」が開校予定である。これに伴い、本年7月から8月にかけて県内各地で入学説	市	長

			4 学校の在り方について	明会が開催されたが、この説明会への出席状況を伺う。 (2) 本市において夜間中学の運営を行う場合、何にどのくらいの経費がかかると想定しているか。また、その財源となる国、県等の補助等はどのようなものがあるか。 (1) 本年9月に開催した学校規模適正化調査特別委員会において、10月以降にも学校の統廃合に関する説明・意見交換会等を開催するとのことであった。 10月からこれまでの取組の内容はどのようなものであったか。また、12月に開催する説明・意見交換会は、どのような内容で開催するのか。 (2) 大川小学校区から阿久根中学校に通学している生徒の保護者から「10月中旬ごろから下校の際に市のバスで対応していただいている。大変ありがたい」と聞いたが、経緯を含め、どのような対応を行ったのか。	教 育 長	教 育 長	教 育 長
4	12	山 田 勝	1 脇本海岸周辺の観光振興と上水道の整備について 2 教科書の選定と戦後の歴史教育について	(1) 県道脇本赤瀬川線のうち永田下区から下村区までの間の上水道の整備状況と利用状況は。 (2) 周辺の介護施設や脇本海水浴場のトイレは、井戸水を使用していると聞いた。このうち、脇本海水浴場のトイレについて、電気料金等の維持管理費はいくらか。また、誰がその費用を負担しているのか。 (3) 脇本海岸周辺では、民間の観光施設や農業施設などの整備が計画されていると聞くが、現在の上水道の機能で供給不足が生じる恐れはないか。 (1) 公立学校の教科書の採択の権限は、その学校の設置者である教育委員会にあるが、阿久根市	市 長	市 長	市 長
					教 育 長	教 育 長	教 育 長

				立の小・中学校の教科書は、どのようにして学校で使う教科書を決定しているか。 (2) 今回採択した日本史の教科書には戦後の歴史についてどのような記載がされているか。特に、慰安婦に関することについてはどうのように記載されているか。 (3) 戦後の歴史、特に慰安婦に関することについてどのような指導を行っているか。	教 育 長
5	8	竹 原 信 一	1 心の教育（教育委員会のとびら10月号）は子どもを幸福にするのか。 阿久根市は稼げる人間になるよう子供たちをしつけ、教育で追い立てた結果、消滅に向かっている。自由教育の「子どもを幸福にしよう。すべてはそこから」と転換すべきではないか。	(1) 不登校や保健室登校などの人数は。 (2) 心の病で休職する教員数は。 (3) 児童生徒の不登校や保健室登校、教員の休職は、忍耐力や自制心不足が原因だと受け止められるが、そのような理解で良いか。 (4) 学校で「不快体験を快体験に」というような体験をさせるのは、人格形成に深刻な悪影響を及ぼすのではないか。 (5) 意図的に子どもに心理負荷をかける学校を、子どもは理解し、信用し、好きになれるのか。 (6) 書かれているような考え方を基に指導することは、意図的な心理操作だと思うが、このような行為は不誠実ではないか。 (7) 学校での「けじめ感覚」の養成は、権威の理不尽に抵抗しない卑屈な人間作りであると思うが、その自覚があるか。 (8) 「自律は他律の経験から始まる」以外は考えられないのか。 (9) A I を駆使する子どもたちの時代に、多くの学科は無駄な重荷であると思うが、どのように考えているか。 (10) 元気がない、希望の持てない	教 育 長 教 育 長 教 育 長 教 育 長 教 育 長 教 育 長 教 育 長 教 育 長 教 育 長

				阿久根市になっていると思うが、「教育に成功した、今後も大丈夫」と言えるか。	
			2 交流センターと図書館建設費について	(1) 市民交流センターの費用は、当初の想定はいくらであったか。また、実際にはオープンまでにいくらかかったか。	教 育 長
				(2) 新図書館は、オープンまでにいくらかかると想定しているか。	教 育 長
			3 学校統廃合について	学校統廃合に要する費用は、現在教育委員会が進めているものを行った場合、いくらかかると想定しているか。	教 育 長